

## 令和4年度第4回脱炭素ポイント制度推進プラットフォーム会議 議事概要

日時:令和5年3月16日(木)16時~17時45分  
場所:咲洲庁舎41階共用会議室⑧(WEB会議併用)

### ■議事概要

#### ● 本会議で新たに参加いただいた事業者の自己紹介

- ・ スーパーマーケット事業を展開しており、地産地消を推進している。地産地消の取組が環境省推奨のグリーンライフポイント事業を実施中。
- ・ サステナブルな商品や取り組みを展開する“HAPIECO WEEK(ハピエコウィーク)”を設けてイベントやワークショップを各店舗で実施した。当活動を活性化したいと考えている。

#### (1) 実証事業の取組結果について

- ・ 事務局(アルパック)より資料1を説明

#### ● ポイント名称について

- ・ 事務局としては、アンケート結果から「おおさか脱炭素ポイント+」より「おおさか CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>(コツコツ)ポイント+」の方が良いと考えるが、事業開始時に「脱炭素ポイント+」が良いという意見もあった。そのため、来年度以降も両方使えるようにしたいと思う。愛称として「CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>(コツコツ)ポイント+」を使えればと考えている。(事務局)
  - ・ 大阪府として、名称を決められるのであればそれでいいと思う。名称を一つに絞る方が、メリットが強いと考えている。
  - ・ 継続してやっていくには、ポイントを一つに絞った方が良い。「CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>(コツコツ)ポイント+」は、大阪らしくて良いと思う。
- ⇒ 名称を統一すべきという意見でしたので、二つの名称でなく、「CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>(コツコツ)ポイント+」に決定する。(事務局)

#### ● 周知について工夫した点良かった点・反省点

- ・ 3ヶ月にわたる取り組みであったため、お客様の関心を効果的に喚起できるよう、連休前などの節目にプッシュ通知をするように意識して行った。
- ・ POPに記載するロゴを統一したことがとてもよかったと思っている。
- ・ 事務局で用意されたPOP等の設置に留まってしまい、自社の発信ツールなどをもっと活用すべきだったと反省している。
- ・ 「おおさか CO<sub>2</sub>CO<sub>2</sub>(コツコツ)ポイント+」のイメージカラーをブルーとし、商品に付けるマークもブルーに統一することで、対象商品が一目で分かりやすいように工夫した。
- ・ 事務局提供の販促物を店頭のレジ周りを中心に設置することに加えて、ハンガー用の販促物を使うことで対象商品が分かりやすいようにした。反省点としては、自社の広報ツールを活用に関して改善の余地があること。
- ・ 販売台数を見ると明確な効果はなかったが、12月~1月について節電多機能エアコンの構成比を上げるという一定の効果があったと考えている。反省点としては、店舗によって取組みの差があったこと。

## ● その他意見

- ・ 購入者の特性などのデータを収集して、事業者間を超えて分析することが出来れば、今後の事業に活かせると思う。
  - ・ 各社自社のポイントで付与されているが、異なる事業者間でも共有できるような仕組みは考えているか。
- ⇒ ポイントシステムの改修を避けるために各事業者の既存のポイントを活用している。そのため、現状の仕組みで進めていく予定。(事務局)
- ・ ポイント付与率の考え方について、お聞きしたい。
- ⇒ 今年度はポイント付与率 0.5%ほどで実施したため、商品を選ぶ理由にはなりにくかったと考えている。ただ、エアコン購入時に省エネエアコンの価値を理解してもらい、その対価としてポイントを付与して、別のお買物にご利用いただければと考えている。中長期的な目線に立って考えたときに妥当であったと考えている。- ・ グリーンライフポイントの実施実績として、付与開始時は売り上げが大きく上昇したが、翌月には効果が薄れてしまった。HP での周知や、グリーンライフポイントの専用上着を着用するなどしているが、中々、消費者の認知度が向上しない。消費者だけでなく、従業員の意識も本社から現場に啓発をしても中々浸透しない。

⇒ そのような現状も踏まえて、来年度は従業員への啓発にも取り組む予定。(事務局)

  - ・ グリーンダウンについて効果が大きかったと思うが、売り上げが上がった要因など考察を聞きたい。(事務局)

⇒ 商品の売り上げ上昇については、ポイント付与による効果だけでなく、比較対象の昨年から商品数や客数が増加したことも要因だと考えられる。ただしアンケート結果からも一定のポイント付与効果があったと考えている。

## (2) 来年度事業について

- ・ 事務局より資料2について説明

### 〈ご質問・ご意見〉

- ・ ポイント付与期間について 5 か月と記載しているが、連続で 5 か月実施しなければならないのか。長期間実施すると後半は効果が薄れる傾向にあると考える。
- ⇒ 期間を何度かに分けて実施することは可能。また、店舗によって期間を分けるのも一つの手だと考えている。(事務局)
- ・ 補助対象経費について、ポイント原資だけでなく、システム整備などにも経費がかかるため、補助対象にしていただけると助かる。
- ⇒ 補助対象を広げるのは中々難しい。(事務局)

## (3) 構成員による脱炭素に向けた新たな取組みについて

- ・ 環境省近畿地方環境事務所、堺市よりそれぞれの脱炭素に向けた取組みについてご報告

## (4) その他

- ・ 事務局より資料4について説明
- ・ 「おおさか eco でんき」について、包括連携協定に基づき、周知啓発に協力できるかもしれない。